

県内企業の地域貢献活動に関する調査結果

企業における地域貢献活動について、みえ次世代育成応援ネットワークの企業会員の皆様にご協力いただき、アンケートを実施しました。地域貢献活動を行なっている企業が 78% と、同ネットワーク企業会員の皆様の意識の高さを伺えるアンケート結果を得ることが出来ましたので、ご報告します。

調査の目的

三重県立みえこどもの城では年間 100 社を超える県内の企業にご協力いただき、様々なイベントを実施しています。今後も地域の企業と連携して子どもを地域で見守っていきたいと考えています。地域貢献活動に関する調査をすることで、企業の現状、考え方、要望を伺い、今後の事業に活かすことができればと考え、アンケートを実施しました。

調査方法

対 象 みえ次世代育成応援ネットワーク企業会員 および
みえこどもの城協力企業 795 社
調査方法 郵送でアンケート用紙を配布・回収
期 間 令和元年 9 月 1 日～ 20 日
回 答 数 190 社 (23.90%)

【基本情報】

業種

	企業数	割合
建設業	51	27%
製造業	35	18%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1%
情報通信業	3	2%
運輸業、郵便業	5	3%
卸売業、小売業	30	16%
金融業、保険業	8	4%
不動産業、物品賃貸業	3	2%
学術研究、専門・技術サービス業	5	3%
宿泊業、飲食サービス業	3	2%
生活関連サービス業、娯楽業、複合サービス業	4	2%
教育・学習支援業	6	3%
医療、福祉	13	7%
サービス業(ほかに分類されないもの)	10	5%
その他	8	4%
未記入	5	3%
	190	

所在地

	企業数	割合
北勢地域	67	35%
(四日市市)	(34)	(18%)
(桑名市)	(14)	(7%)
(鈴鹿市)	(9)	(5%)
中勢地域	68	36%
(津市)	(34)	(18%)
(松阪市)	(29)	(15%)
伊勢志摩地域	28	15%
(伊勢市)	(15)	(8%)
伊賀地域	11	6%
(伊賀市)	(10)	(5%)
東紀州地域	14	7%
未記入	2	1%
	190	

従業員数

	企業数	割合
1~4人	26	14%
5~29人	76	40%
30~99人	49	26%
100人以上	39	21%
未記入	0	0%
	190	

経営者の年齢

	企業数	割合
34歳以下	1	1%
35~44歳	24	13%
45~54歳	53	28%
55~64歳	64	34%
65~74歳	36	19%
75歳以上	11	6%
未記入	1	1%
	190	

【地域貢献活動について】

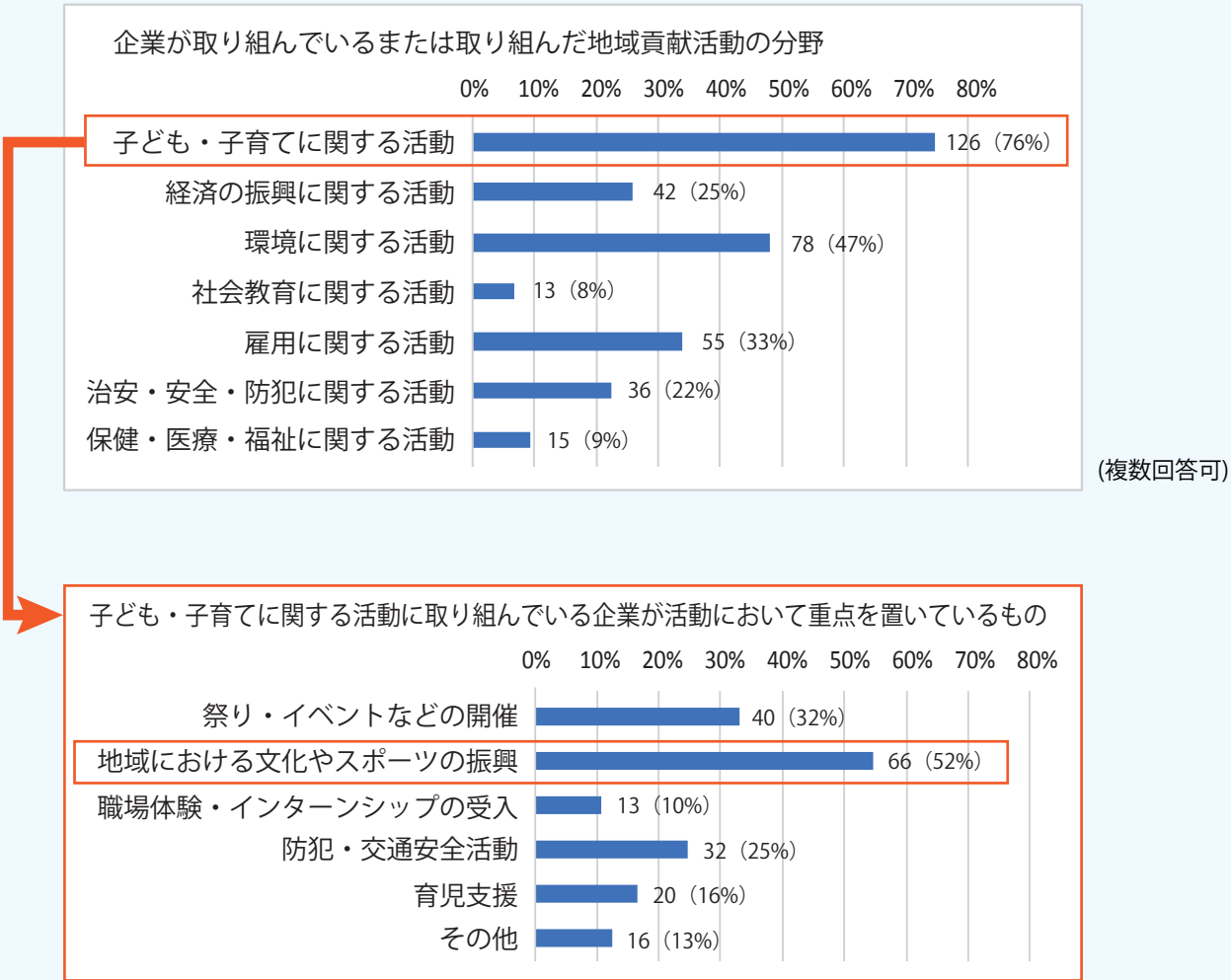
企業の地域貢献活動の状況

「活動を行っている」企業が78%に上る。また、「過去に行っていた」、もしくは「今後は行う予定である」という企業を加えると90%に上っている。

	企業数	割合
現在行っている	149	78%
過去に行っていた	13	7%
現在は行っていないが今後は行う予定である	9	5%
行う予定はない	16	8%
未記入	3	2%
	190	

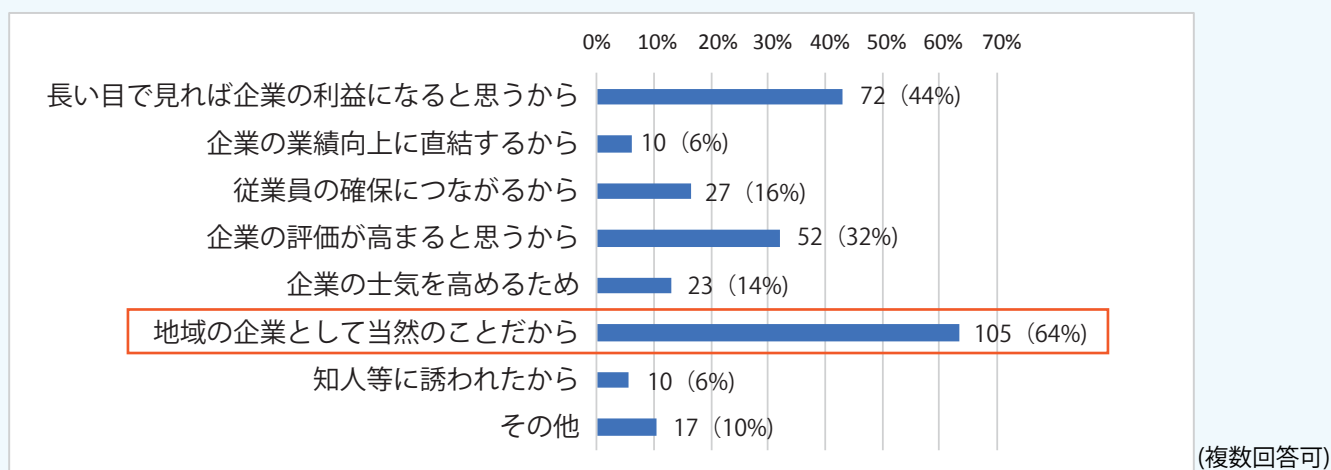
企業が取り組んでいるまたは取り組んだ地域貢献活動の分野

「子ども・子育てに関する地域貢献活動」を実施している企業が76%に上っている。次いで、「環境に関する活動」を実施している企業が47%と多くなっている。
子ども・子育てに関する活動を実施している企業がその活動で重点を置いているものとして、「地域における文化やスポーツの振興」と回答する企業が最も多かった。



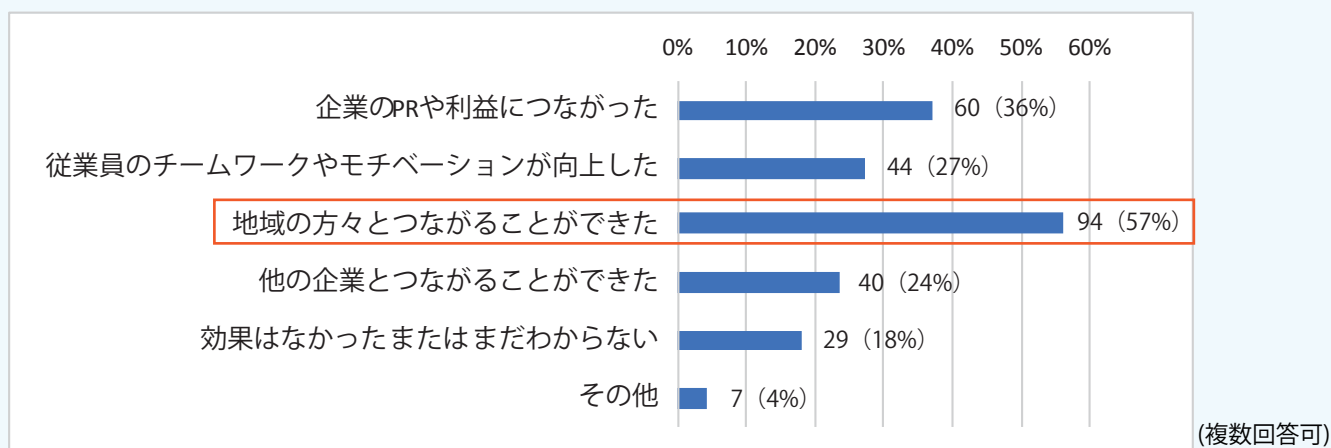
地域貢献活動を始めた理由

活動を始めた理由として、「**地域の企業として当然のことだから**」と回答した企業が**64%に上った**。次いで、「長い目でみれば企業の利益になると思うから」と回答した企業も40%を超えた。



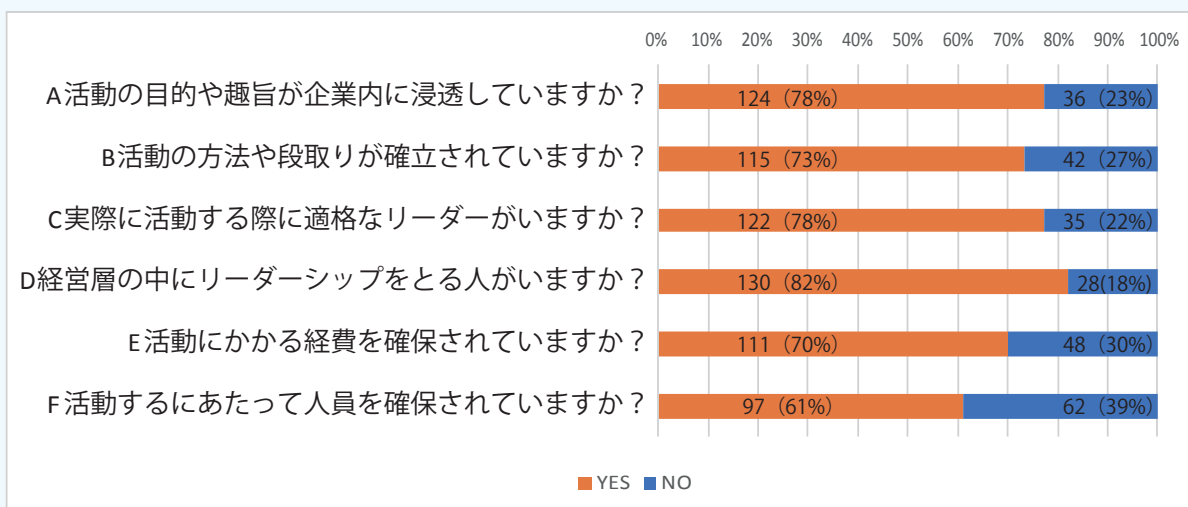
地域貢献活動により得られた具体的な効果

活動の実施により得られた効果として、「**地域の方々とつながることができた**」と回答する企業が**57%に上った**。次いで、「企業のPRや利益につながった」と回答する企業も36%に上った。



地域貢献活動に当たっての質問事項

活動の目的や趣旨の共有や、方法、段取り、経費・人員の確保等、活動を行うに当たって必要と思われる要素について、**それぞれ満たしているまたは確保していると回答する企業が、すべての項目において6割を超えた**。



【みえこどもの城との連携について】

みえこどもの城と共催でイベントを開催したり、地域協働大型イベント（キッズおしごと広場や児童虐待防止キャンペーンなど）に参加したことはありますか？

みえこどもの城との協働事業に、30社の企業が参加したことがあると回答した。**参加したことがある企業はみえこどもの城に比較的近い津市、松阪市が多かった。**

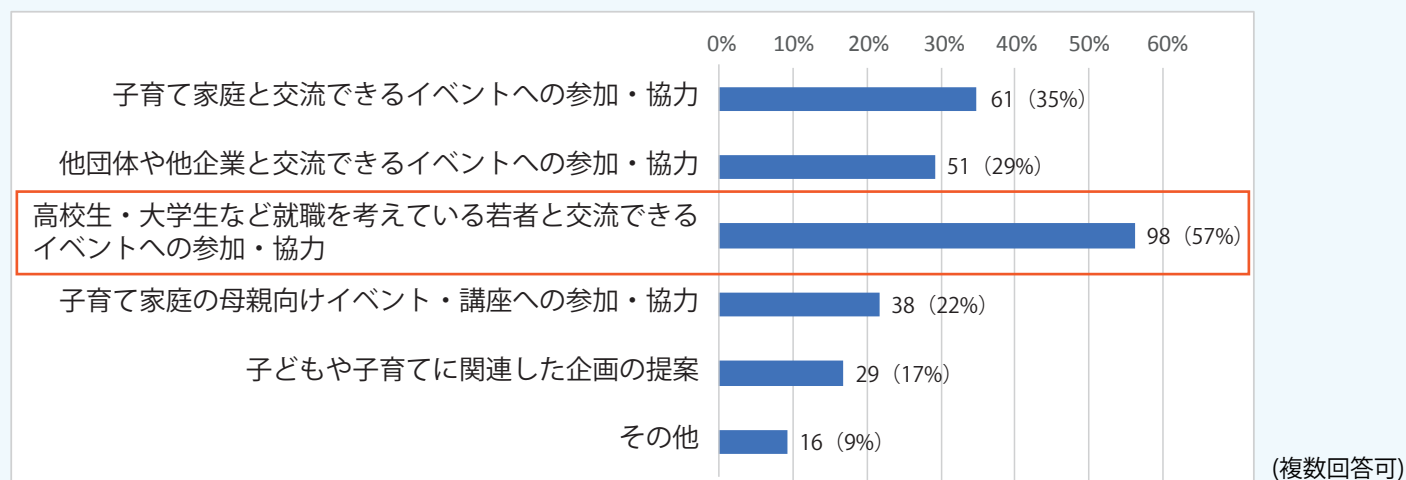
	企業数	割合
YES	30	16%
NO	157	83%
無記入	3	2%
	190	

YESと回答した企業の所在地の内訳

津市 9件 / 松阪市 9件
四日市市 4件 / 伊勢市 2件 / 鈴鹿市 2件
尾鷲市、多気町、御浜町、未記入 各1件

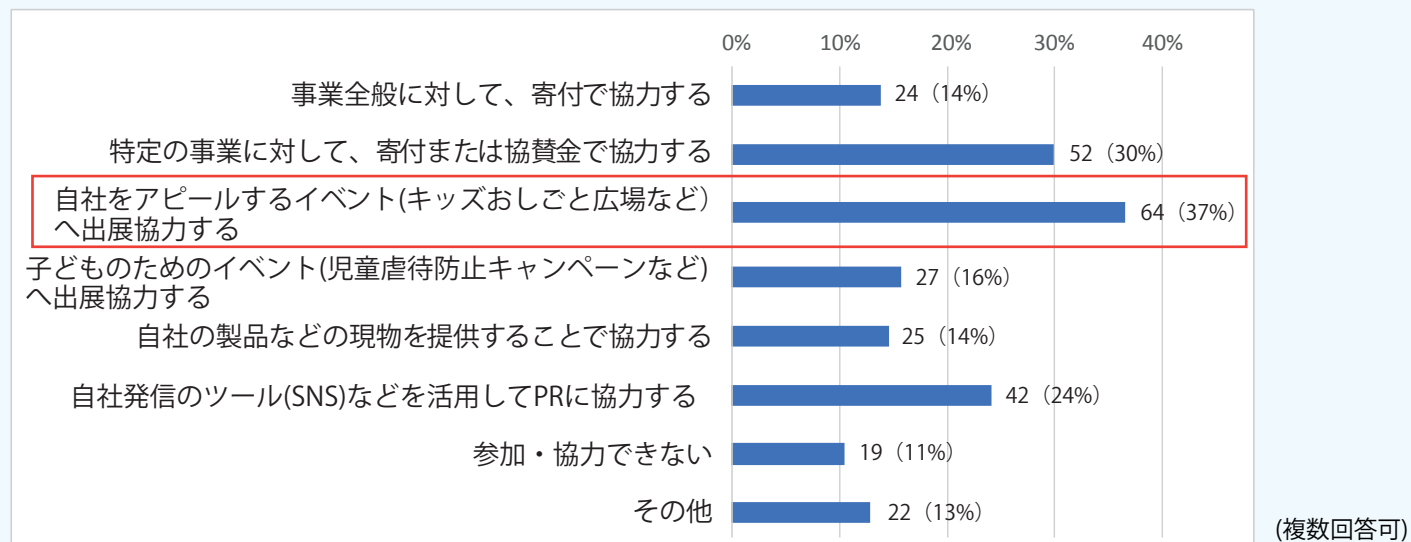
どのようなイベントであれば連携（参加・協力・企画提案等）をしやすいと思いますか？

連携しやすいイベントは、「**高校生・大学生など就職を考えている若者と交流できるイベントへの参加・協力**」が**57%**と**最も多かった**。次いで「子育て家庭と交流できるイベントへの参加・協力」が35%、「他団体や他企業と交流できるイベントへの参加・協力」が29%の順に多かった。



みえこどもの城に協賛・協力していただける場合、どのような方法であれば可能であると思いますか？

みえこどもの城への協賛・協力として可能と思われる方法は、「**自社をアピールするイベント（キッズおしごと広場など）へ出展協力する**」が**37%**と**最も多かった**。次いで「特定の事業に対して、寄付または協賛金で協力する」が30%、「自社発信のツール（SNS）などを活用してPRに協力する」が24%という順になっている。



アンケートを回答していただいた企業の中から、高校生と連携して活動を行っている企業2社、および高校生と企業をつなぐ当財団の取り組み、ならびに地域貢献として特徴的な活動を行っている企業2社をご紹介します。

【高校生との取り組み】

活動紹介

1

IINAN いいな！ LATE 有限会社 深緑茶房

2018年7月から、地元の特産品をPRしていこうと活動を開始した飯南高等学校美術部。

そこでスポットが当てられたのが「松阪の深蒸し煎茶」でした。早速、深緑茶房の「粉末緑茶」を使用しながら開発がすすめられ、試行錯誤の結果、フワフワのミルクの泡に細いスプーンや楊枝を使って、見事に“アート”を描くことに成功しました。

見た目は抹茶のような鮮やかな緑色、お味のほうは、深蒸し煎茶の甘味と渋味のバランスがとれたステキな美味しさが特徴です。



その絶品のラテを、地元の道の駅（茶倉、飯高）などでイベント販売をやってみると、なかなかの評判で、いろんなところから出店のオファーが来るようになりました。

そんな中、「深緑茶房本店でカフェをやってみませんか〜」とお声がけをしましたところ「ハイ、やってみたいです〜」という元気な返事が返ってきました。

とりあえず、本店スタッフから接客のマナーを伝授し、2019年3月から週に一度放課後を利用して、営業がスタート。今ではたくさんのお客様がご来店されています。

今回、この地域を盛り上げようと取り組んでもらった活動に感謝するとともに、一緒に手を取り合って、少しでもお力になればと思っています。



活動紹介

2

社会貢献の考え方 エイベックス 株式会社

名古屋市瑞穂区で自動車部品を製造する企業で今年70周年を迎えています。三重県桑名市に15年前に多度工場を操業して7倍の成長を遂げています。これからも地元企業として、地域に根ざし地域に愛される企業になりたいと考えています。

我々が目指す地域貢献の一つとして、ものづくりの面白さを次世代の子どもたちに工場見学を通じて知ってもらい興味を持ってもらいたいという思いで社会科見学を実施しています。

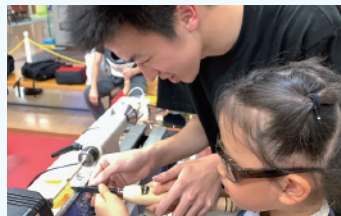
また、桑名工業高等学校の「ものづくり工房」の活動に対して、



当社はボールペン製作に必要な設備を投資し、製作販売支援を行っています。

現在、「高校生の手作りボールペン」としてふるさと納税の返礼品に採用されています。

高校生と社会人が共通の目標を目指しイベントの企画運営を行うことで、高校生は自ら考え行動できる人材に成長しています。



彼らがものづくりの楽しさや仕事のやりがいを感じ、次世代を担う社会人になってくれたらと思っています。

活動紹介

3

高校生と企業との懸け橋に

公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団

当財団では、高校生と企業をつなぐプロジェクトを数年前から実施しています。今年で4年目となる椅子プロジェクト。メンバーは、伊勢工業高等学校と（株）ビコーインプレスと当財団。約1年をかけて、若い発想で生徒がデザインした椅子を企業が形にし、最終、椅子はみえこどもの城に設置していただきます。

（株）ビコーインプレスの近藤社長曰く、「学生さんは学校の理論だけでなく、実践する体験を積むことで、さらに学んだ理論を確立して欲しいし、勉学を向上させてほしい」とのこと。



今年で2年目となる、手づくりゲームプロジェクトは、四日市中央工業高等学校と旭電気（株）と当財団によるプロジェクト。企業からは必要な部品などの支援をはじめ、設計や安全性などのアドバイスなどをもらっています。1年をかけて制作された手づくりのゲーム機は、みえこどもの城に来館する子どもの楽しみとなっています。

旭電気（株）の藤岡部長には、「2年目からは若い職員に任せています。このプロジェクトへの参加は、弊社の社員教育にもなっています」と言っています。



【企業の特徴的な取り組み】

活動紹介

4

ミュージックノーマリゼーションの 社会を目指して

村井楽器 株式会社

村井楽器の社会貢献事業。毎月開催「ライブスペース勢の！」2009年に伊勢でスタート。2019年11月で10周年、120回目の開催です！「ライブスペース勢の！」とは玉城町在住音楽療法士吉田豊氏と村井楽器のコラボレーションでスタートした障がいのある無しに関わらず、観るのも出るのも無料のまぜこぜコンサートです。出演者は障がい者、健常者のミックスで構成され、パフォーマンスを重視します。



スローガンは音楽の力でミュージックノーマリゼーションの社会を実現すること。

コンサートは毎月、第3日曜日16時～17時の1時間、村井楽器伊勢店2階ホールで開催。



また、年に3回は楽器店ホールを飛び出して伊勢市・玉城町・明和町のホールで行政・社会福祉協議会と協力し、ロングバージョンの引っ越し公演を行い好評です。

是非一度ご来場頂きそして、出演者の素敵なパフォーマンスとグルーブを感じてください。村井楽器では音楽特化の児童発達支援・放課後デイサービス・自立訓練（生活訓練）就労移行支援・定着支援を行う福祉施設も運営しており、音楽の力で人を支える活動を行っています。

活動紹介

5

地域貢献活動に関する取り組み

特定施設入居者生活介護事業所 虹の夢津

「虹の夢津」は介護付き有料老人ホームと障がい者の就労支援施設の「トモニス」を併設している施設です。そこでの高齢者や障がい者の皆さんの日ごろの活動に、子どもたちが関わる事により相乗的な効果が生まれるのではないかと考えていました。

そんな中、みえこどもの城にご紹介いただき、まずは児童館の子どもたちとの交流の機会を作りました。

子どもたちにとっては人生の大先輩である高齢者の方と接する事で、新たな経験も出来、また高齢者の方は



子どもたちの元気な声や行動に、昔の子ども時代を思いだされる方もあり、日常とは異なる充実した日を過ごすことが出来ました。

トモニスの利用者も子どもたちの事が大好きで一緒に過ごし、楽しく盛り上げてくれました。



たった1回の関わりで、いろいろな新たな経験を得られたことが非常にありがたく、その後は、毎年開催する夏祭りへ参加して頂いています。当施設として地域の為に、未来を支える子どもたちの為に「虹の夢津」として出来る限りのことを応援していきたいと考えています。

総括

78%の企業がすでに地域貢献活動に取り組んでおり意識の高さが伺えます。

「子ども・子育てに関する活動」に取り組んでいる企業が76%で、その中で重点を置いているものは、「地域における文化やスポーツの振興」でした。

地域貢献活動を始めた理由は、「地域の企業として当然のことだから」と回答した企業が最も多く64%でした。

活動により得られた具体的な効果は、「地域の方々とながらうことができた」が最も多く57%でした。

みえこどもの城との連携については、「高校生・大学生など就職を考えている若者と交流したい」と回答した企業が最も多く57%でした。

今回の結果からみても、みえこどもの城が地域の拠点となり、地域をつなぐ役割を担っていければと考えています。

今後は、企業と高校生（職業高校）が交流する場を提供していくことを視野に入れ事業に取り組んでいきたいと思っています。

子どもの健やかな成長を支援する輪がさらに広がり、引き続き地域の方々との連携し、より発展した取り組みを進めていきます。

【問い合わせ先】

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

監修

高田短期大学

子ども学科 鷲見裕子

〒515-0054 三重県松阪市立野町1291 TEL / 0598-23-7735 Eメール / office@mie-cc.or.jp